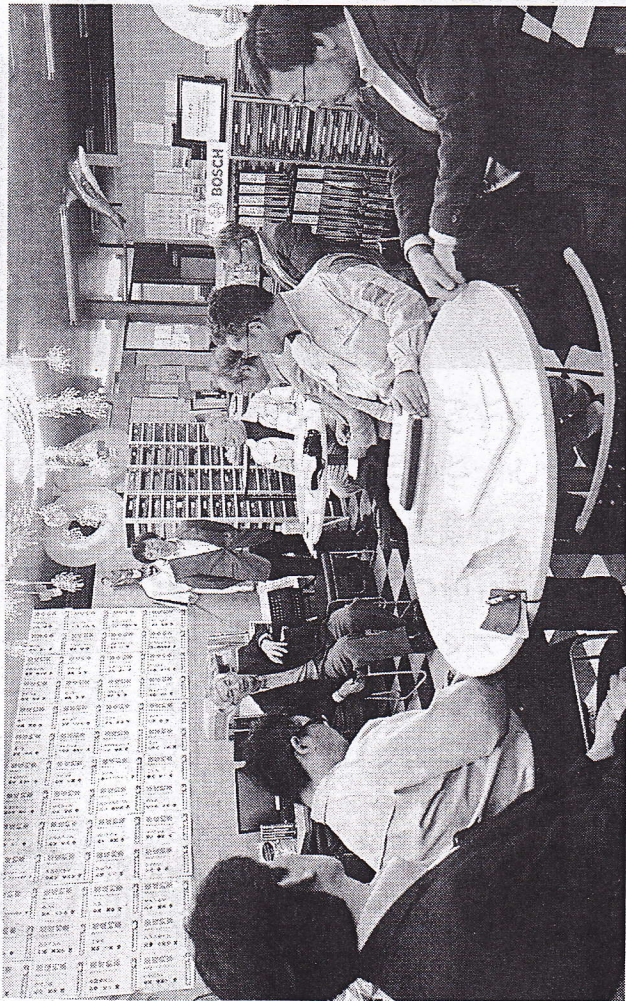




電気自動車への改造について話し合うあきたE V研究会のメンバー＝秋田市八橋下八橋のラビット秋田臨海店で

E V改造パーツ 開発への勉強会

秋田・研究会

ガソリン車を電気自動車(EV)にする改造キットの普及を目指す「あきたE V研究会」(鎌田学会長)は16日、改造パーツの開発のための初めての勉強会を秋田市内で開いた。自動車整備や金属加工の業者、県企業活性化センター職員など15団体25人が参加。自動車メーカーの元製造担当者

を講師に招き、アドバイスを受けた。

同会は昨年7月に発足。東北で初めて公道走行可能な改造EVを完成させた。今年度は県の補助金280万円で、メーカーから複数の改造用モーターやバッテリーなどを購入し、航続距離など効率性を研究。さらに県内企業でパーツを製造する可能性を探る。

鎌田会長は「少しでも多く秋田の地元企業がパーツを生産できるようにして地域活性化につなげたい」と話した。勉強会は今後毎月開催する予定。

【坂本太郎】